

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

No. 264

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2021（令和3）年9月24日

実りある秋に

2学期が始まって、早くも1ヶ月が経とうとしています。2学期の始業式（オンラインで実施しました）で、子どもたちにした話に関連して、地域・保護者の皆様をお願いをいたします。

① 目標をもって

得意だから伸ばす・苦手だから克服する等、勉強や運動に限らず、目標をもって過ごしてほしい。そして、目標を決めたら「そのために」具体的に何をするのか、「自分にちょうど良い方法」を見つけて続けてほしい、と子どもたちに話しました。

実はこの「自分にちょうど良い方法」の設定やその実行・継続こそが重要で、「三日坊主」のほとんどはこの「ちょうど良い」の見誤りが原因ではないかと私は思っています。是非、助言をお願いします。また、モチベーションの維持のためにお子さんの見守りと励ましをお願いします。

② 「〇〇の秋」

〇〇には、読書、スポーツ、芸術、食欲、味覚、収穫、行楽…等々のいろいろな言葉が入るが、暑すぎず・寒すぎず、いろいろなことに打ち込んだり、楽しんだりするのに良い季節。頑張ったことが結果に繋がる、取り組んだことが成果に表れる、そんないろいろな意味での「実りの秋」にしてほしい、という話を子どもたちにしました。

ところで「秋の夜長」、ゲームや動画に熱中するお子さんも少なくないと思います。実際に中央小でも、オンラインゲームにかかわって、以下のような事案が起きています。

- *家庭内の約束を守れず、長時間ゲームをやめられない、隠れて夜遅くまでゲームをする。
- *ボイスチャットの乱暴な言葉遣いや不適切な内容等が、人間関係のトラブルに繋がった。
- *ゲーム課金にかかわる子ども同士のアイテムの交換や奢り合いのトラブルが起きた。
- *知らない人とのプレイで騙された。（ギフト交換を持ちかけられたが、こちらが送ったら、相手は消えてしまった。）

いずれも、今のところ、深刻な事態や高額な損失には至っていませんが、心配な状況です。

ゲームや動画サイト等での病的な「ネット依存」が疑われる国内の中・高生は93万人もいると推計され（2018年9月 厚生労働省研究班）、新型コロナウイルス感染症の影響で更に深刻化する危惧も感じます。ゲームに端を発した人間関係のトラブルが起きたり、ゲーム依存が昼夜逆転生活・不登校や引きこもりに繋がったり、ゲーム課金のエスカレートで多額の負債を抱えたり、知らない人とのプレイが個人情報漏洩や出会い系被害に繋がったり、とゲームにはプレーヤーを夢中にさせる強い魅力がある反面、大きなリスクに繋がりがねない一面もあると思います。

ゲームや動画を上手に楽しめるように、今一度、ご家庭での約束をお子さんにご確認ください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、苦渋の選択や急な変更を余儀なくされる場面は、今後も出てくると推測されます。学校では「安易に中止」することも「無謀に実施」することもないように、子どもたちの安全と学びの両立を模索して参ります。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 村治 隆夫

なお、始業式では、杉田教頭より新型コロナウイルス感染症にかかわる指導を行いました。

9月9日付「ほけんだより」に内容が記載されていますので、是非ご覧ください。